

# 入院加療における睡眠薬の処方常用化となる要因解析

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<b>研究課題名</b>	入院加療における睡眠薬の処方常用化となる要因解析
<b>倫理審査受付番号</b>	第3832号
<b>研究期間</b>	2021年 7月倫理審査承認日～2025年 3月31日
<b>研究対象情報の取得期間</b>	下記の期間に全診療科を受診された不眠症の方 2020年 1月 1日～2020年12月31日
<b>研究に用いる 試料・情報</b>	カルテ情報
<b>研究概要</b>	<p>(研究目的、意義)</p> <p>入院加療は、入院環境や疾患による侵襲が不眠症状を来とし、睡眠薬の内服の契機となり常用化にいたる場合も少なくありません。その過程には、疾患や治療による苦痛、入院環境、および医療者側の睡眠への介入方法など、多くの要因が関与しています。これらの要因を特定することは、入院環境の是正、不眠を来たしやすい集団への介入が容易となります。しかしながら、本邦において入院加療を契機とした退院時の睡眠薬常用化に関する処方現状調</p>

査は十分行われていません。睡眠薬が処方される要因に関しても未だ不明瞭な部分が多いです。本研究の目的は、兵庫医科大学病院の入院患者さんにおいて、睡眠薬の処方現状調査を行い、睡眠薬常用化となる要因を調査する事です。また、本研究の意義は睡眠薬常用化となる要因を特定する事で、特定された要因に対して適切に介入する事により、入院を契機として睡眠薬が常用化される事を防止する事です。

#### （研究の方法）

入院時には睡眠薬を服用されていなかったが、入院中に睡眠薬の処方が必要となった患者さんを対象とします。退院時に睡眠薬の処方がある患者さんと睡眠薬の処方が無い患者さんを比較し、その要因を調査します。

#### ＜調査する項目＞

年齢、患者ID、性別、入院日数、原疾患、入院診療科、睡眠薬服用剤数、睡眠薬ジアゼパム換算値（睡眠薬の量をジアゼパムという薬を基準に換算値を計算します）、併用薬剤、入院中不眠時頓服使用薬など。

#### （個人情報の取り扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 薬剤部  
部長 木村 健（研究責任者）  
徳谷 晃（実務責任者）

TEL | （24時間対応可能） 0798-45-6189